

## 4. みなべ町地域福祉計画に関するアンケート調査集計結果

地域福祉計画を策定するにあたり、住民の方々に地域福祉に関するアンケート調査を実施しました。その集計結果は以下のとおりです。

1. 実施期間 平成18年11月1日から11月30日

2. アンケート対象者及び回収数

配付数：一般住民500人（無作為抽出） 回収数228 回収率 45.60%

福祉関係者313人 回収数219 回収率 69.97%

福祉関係者313人の内訳： 民生児童委員 45人

社協理事・評議員 51人

社協福祉委員 122人

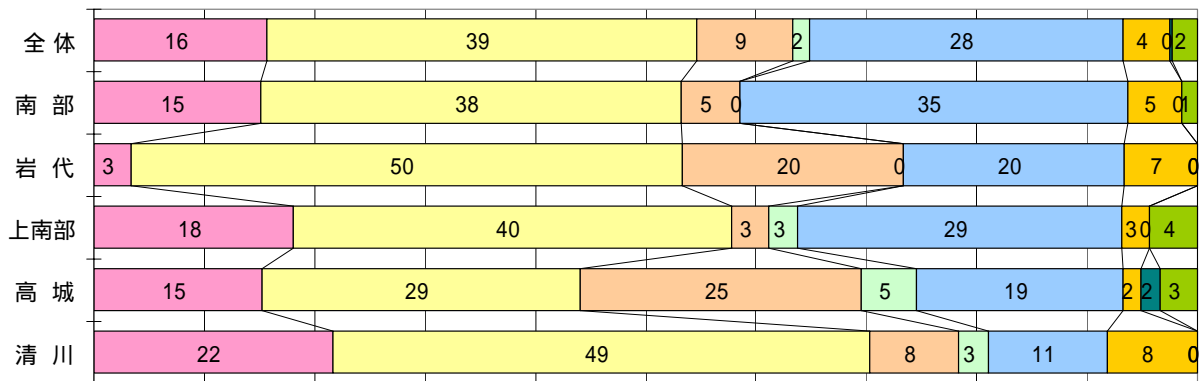
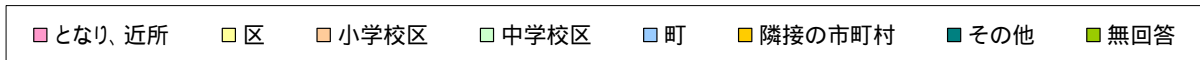
母子保健推進委員 27人

区長・副区長 68人

3. 各質問別集計結果（グラフ） 別紙のとおり

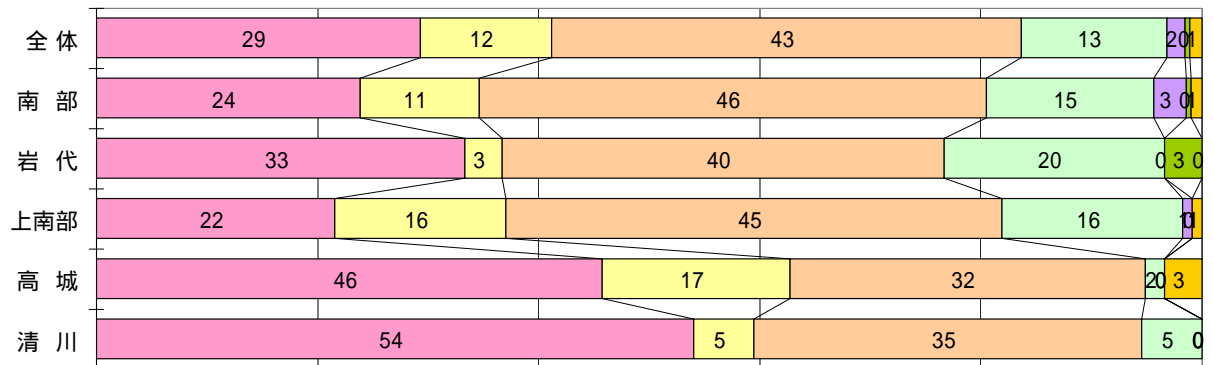
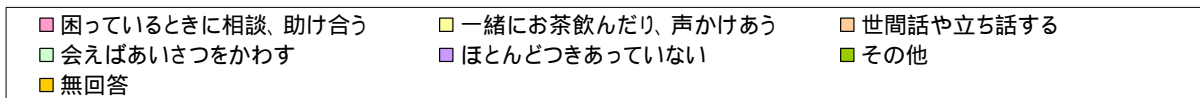
## あなたが思っている地域とは

全体を通じて地域の範囲は区とと思っている人が多い。特に岩代、清川が半数を占めている。  
 南部地区は町を地域ととらえている割合が5地区で一番高い。南部地区は市街地区域であり、小さい面積の中にいくつかの区があるため、市街地区域全体を一つの地域とと思っている方が多いと思われる。(グラフ内の数値は%です。)



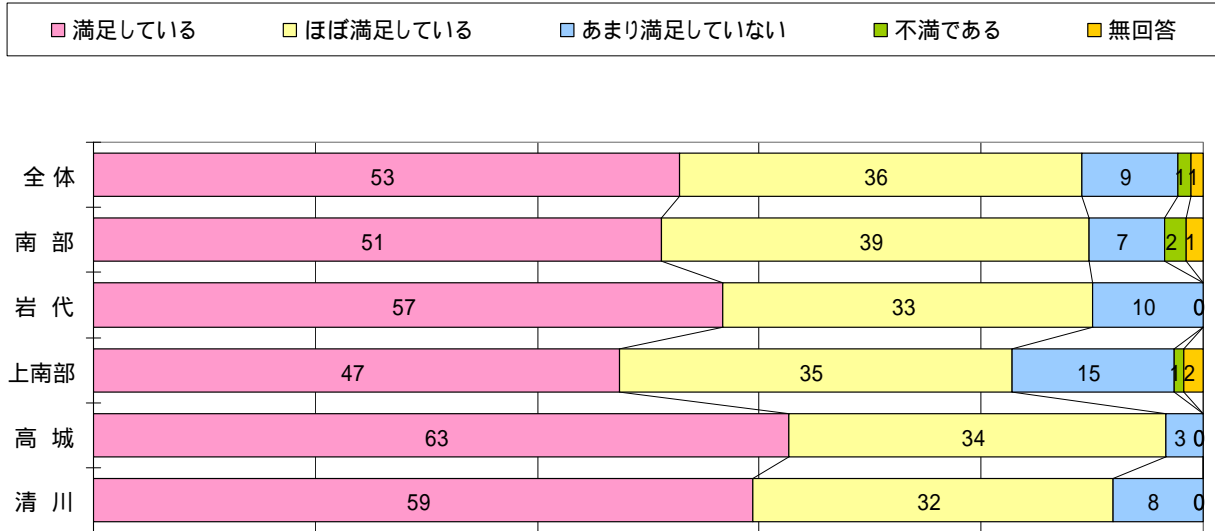
## 近所の人との付き合いの程度は

「困っているときに相談、助け合う」と答えた割合は高城、清川地区が高く、近所との付き合いが濃密であると言える。岩代地区がそれに続いている。



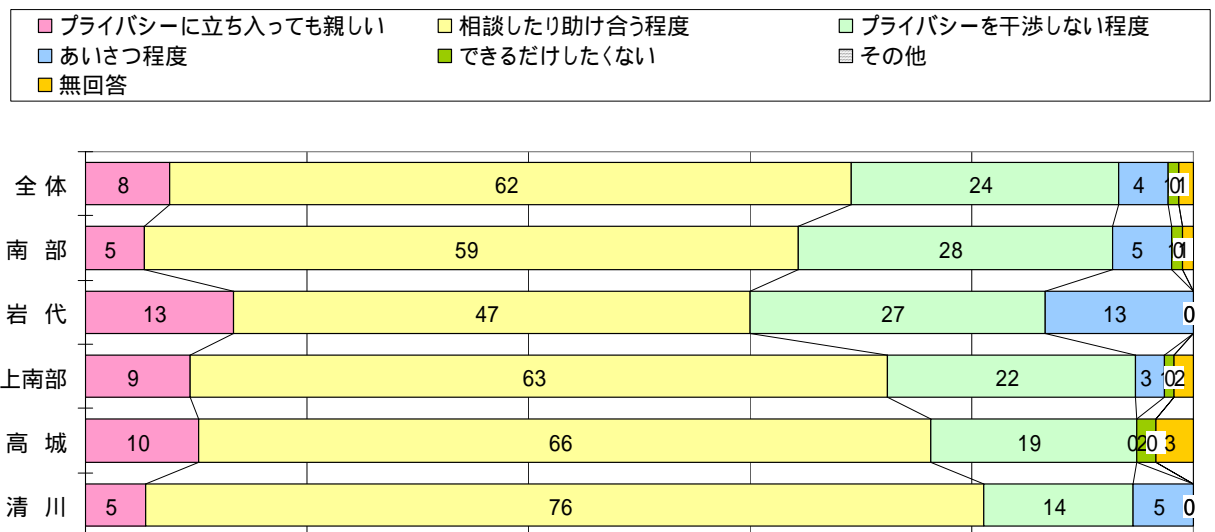
## 現在の近所付き合いに満足していますか。

全体を通じて満足度は高いといえる。



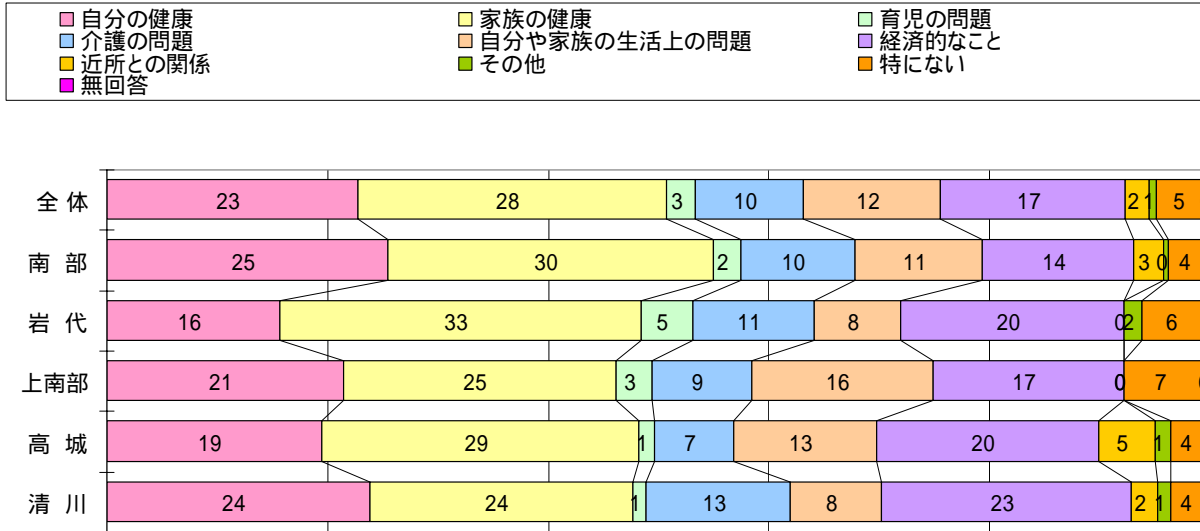
## 近所付き合いについて

全体的に「何か困ったことがあれば相談したり助け合う程度がいい」と答えた人が一番多い。



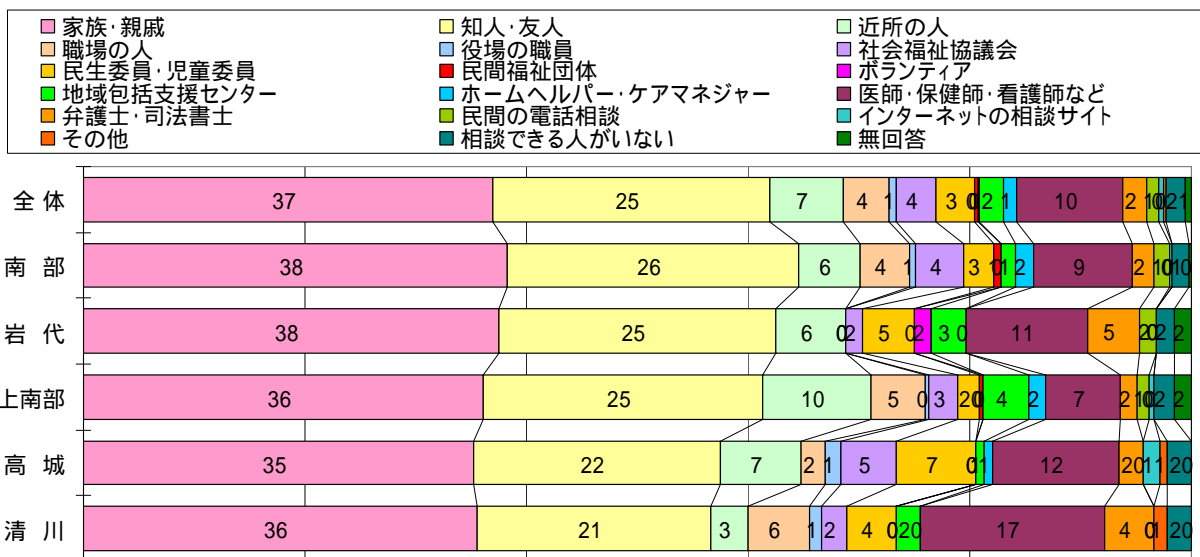
## どのような悩みや不安を感じていますか

全体的に「家族の健康」「自分の健康」次に「経済的なこと」と答えた人が多い。



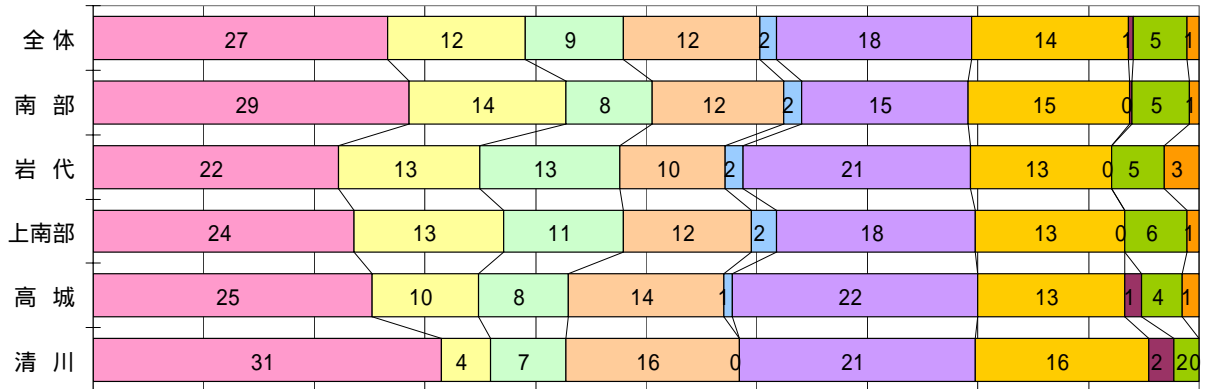
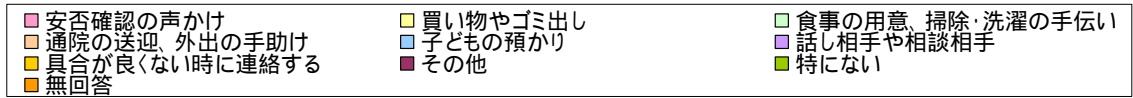
## 悩みや不安について誰に相談したいですか。

全体を通じて、家族・親戚に相談する人が一番多く、次いで知人・友人、その次に医師・保健師・看護師となっている。



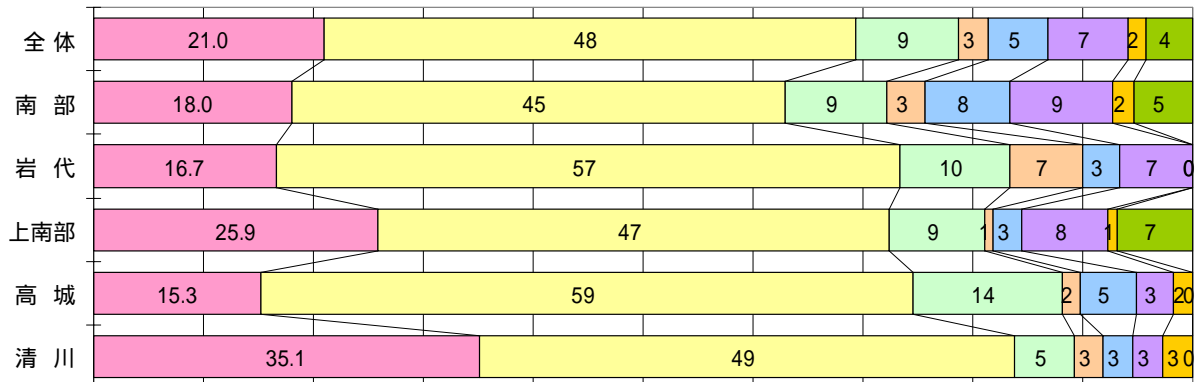
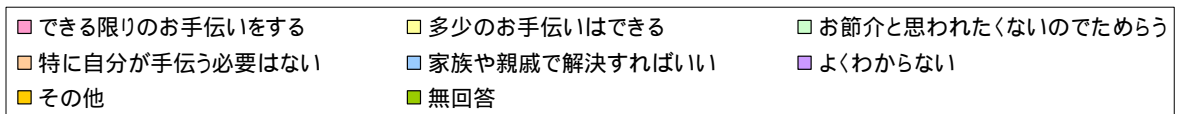
日常生活が不自由になったとき、ご近所でどんなことをしてほしいですか。

全体を通じて一番は「安否確認の声かけ」、二番目は「話し相手や相談相手」となっている。



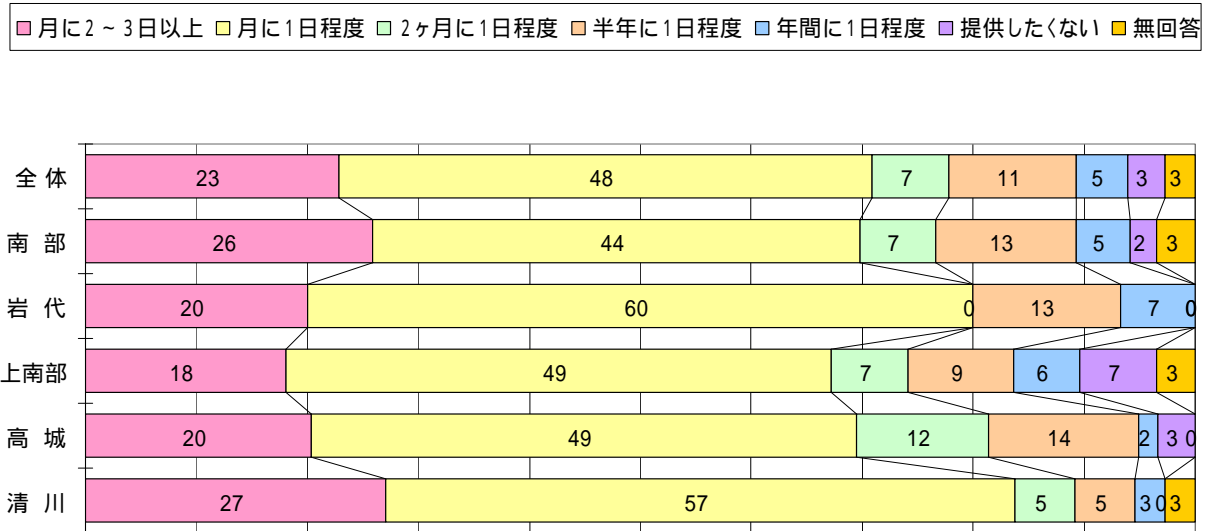
近所で困っていることがあったらどうしますか。

全体的に「多少のお手伝いはできる」と答えた方が半数を占める。「できる限りのお手伝いをする」と答えた方は清川地区が一番多い。



## 奉仕活動はどの程度できますか。

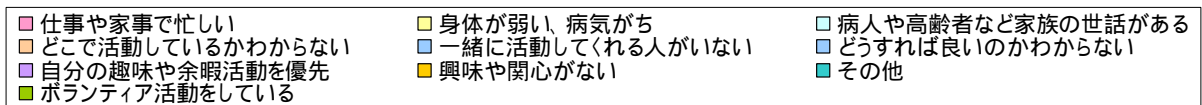
各地区とも「月に1日程度」が一番多く次いで「月に2～3日以上」となっている。



## ボランティア活動について（ボランティアをしていない理由）

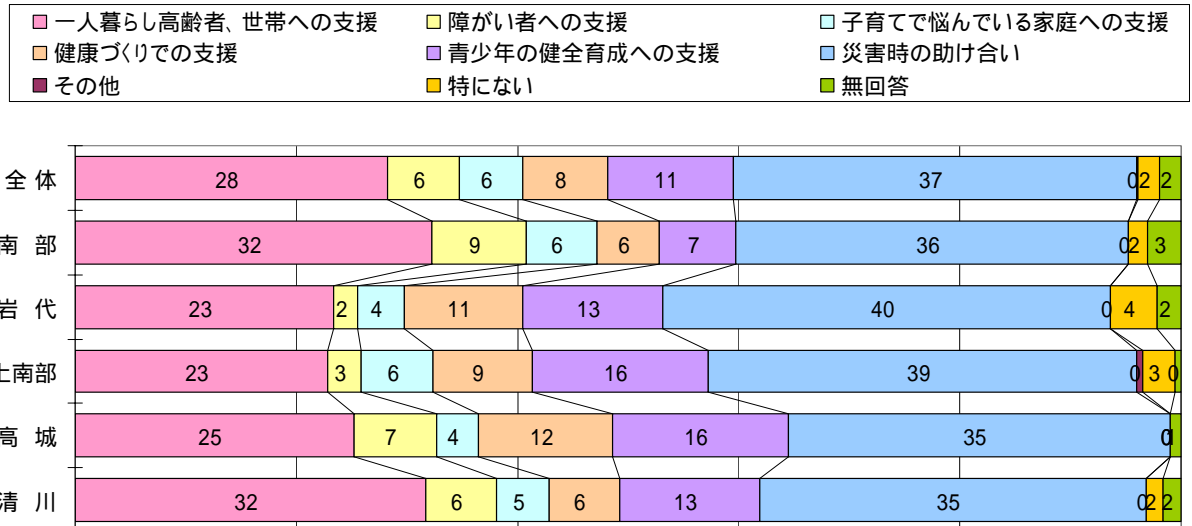
ボランティアをしていない理由で「仕事や家事で忙しい」が一番多い。岩代地区は「どこで活動しているかわからない」「一緒に活動してくれる人がいない」も多い。

ボランティア活動をしている割合は清川地区が一番高い。



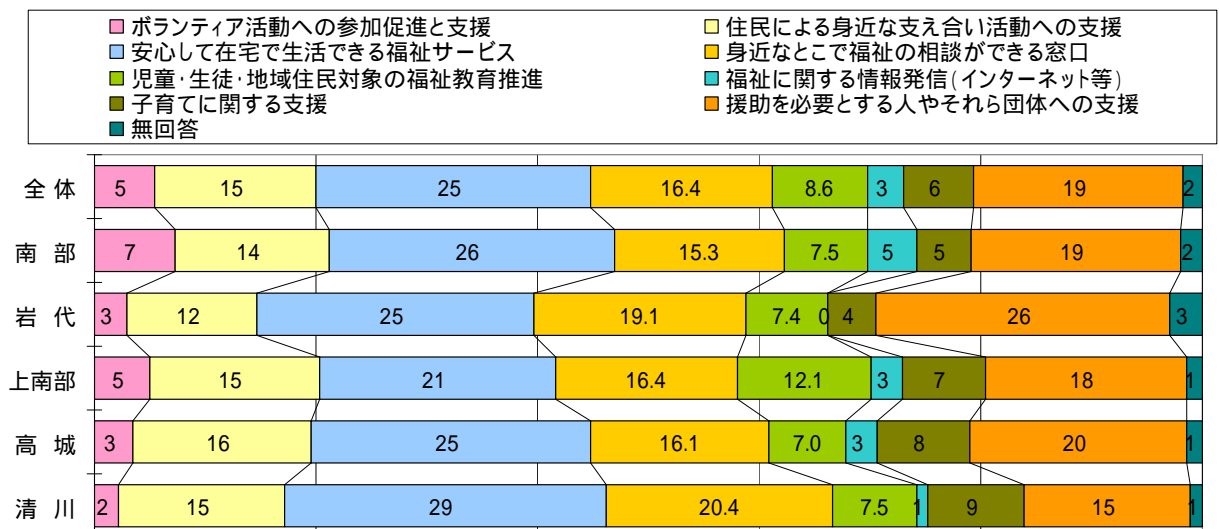
## 地域で取り組む課題は

各地区とも「災害時の助け合い」が一番多く、次いで「一人暮らし高齢者への支援」となっている。



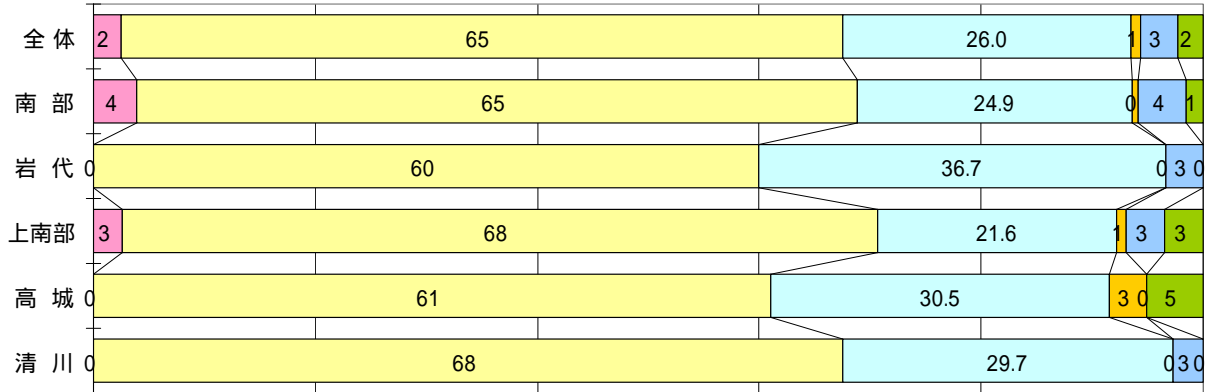
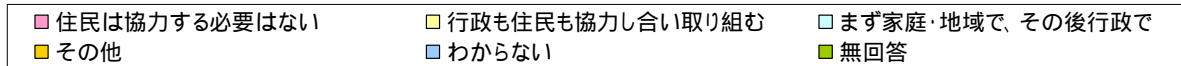
## 社協で今後充実してほしいものは

各地区とも「安心して在宅で生活できる福祉サービス」「援助を必要とする人や団体への支援」「身近な相談窓口」「住民による支え合い活動への支援」が多い。



## 福祉サービスを充実していく上であなたの考え方は

各地区とも「行政も住民も協力して取り組む」が一番多い。次いで「まず家庭・地域で、その後行政で」となっている。



## 町が今後取り組むべき施策は

他種にわたるが、「各地区とも福祉の相談窓口」が一番多い。清川地区が特に多い。次いで町全体で10%を超えているのは「福祉サービスの情報提供をさかんにする」「近所の見守り、支え合い」となっている。

福祉施設の整備は「大きな施設」「小さな施設」を合わせると17.9%となる。

